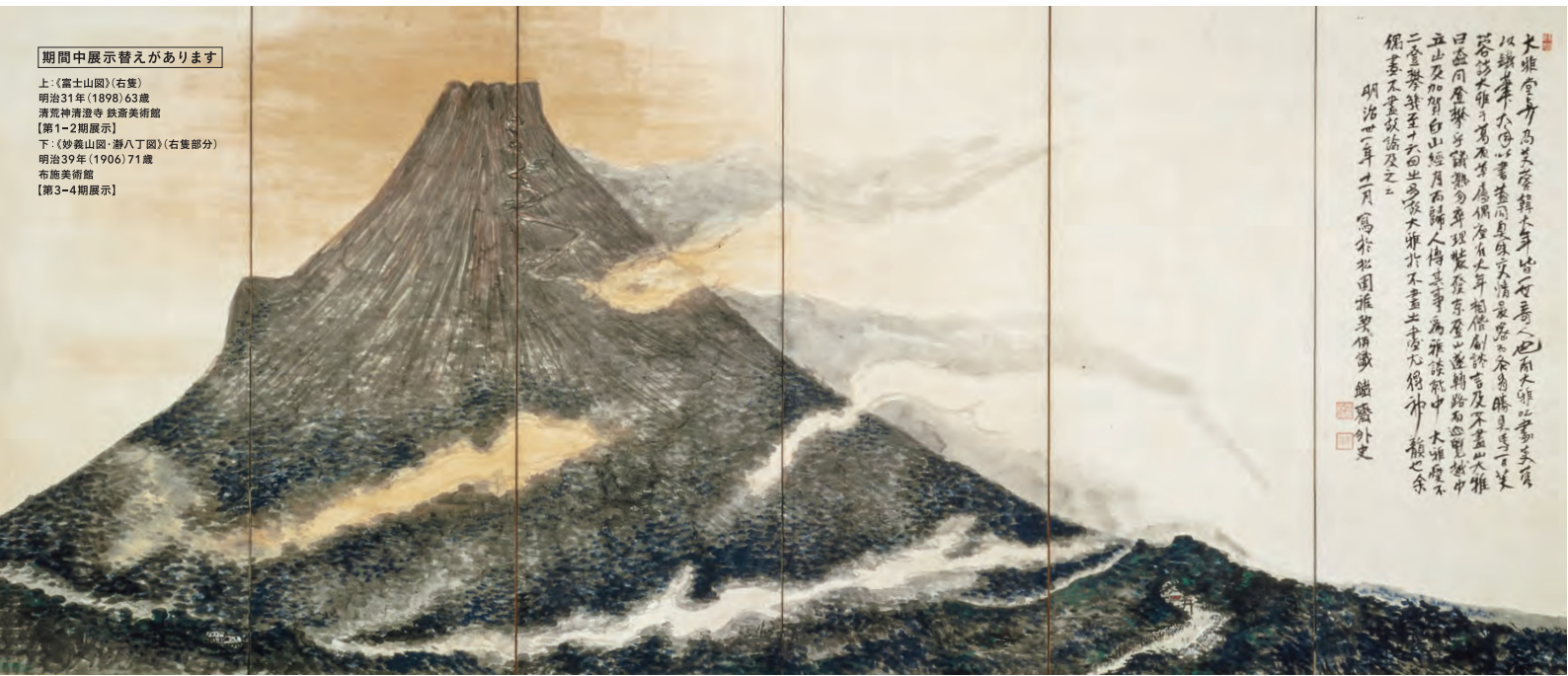


期間中展示替えがあります

上：富士山図(右隻)
明治31年(1898)63歳
清荒神清澄寺 鉄齋美術館
【第1-2期展示】
下：(妙義山図・瀑八丁図)(右隻部分)
明治39年(1906)71歳
布高美術館
【第3-4期展示】



大非會方為芙蓉類大年皆為一人也而大非此畫外史
以鐵齋大非以畫畫同是感天清最密之各為勝其不可
若若大非子為其年為個屋有八年相傳創詩言及不盡此大雅
曰益同登攀并讀熟多理數在空山遠路而念其山中
立山及加賀白山短月而歸人持其事為非語能中 大非屋不
二畫譽其至十云出為家大非於不盡此畫尤得神 韻也余
獨畫不畫就餘及之
明治三十二年二月寫於北國推賢館 鐵齋外史

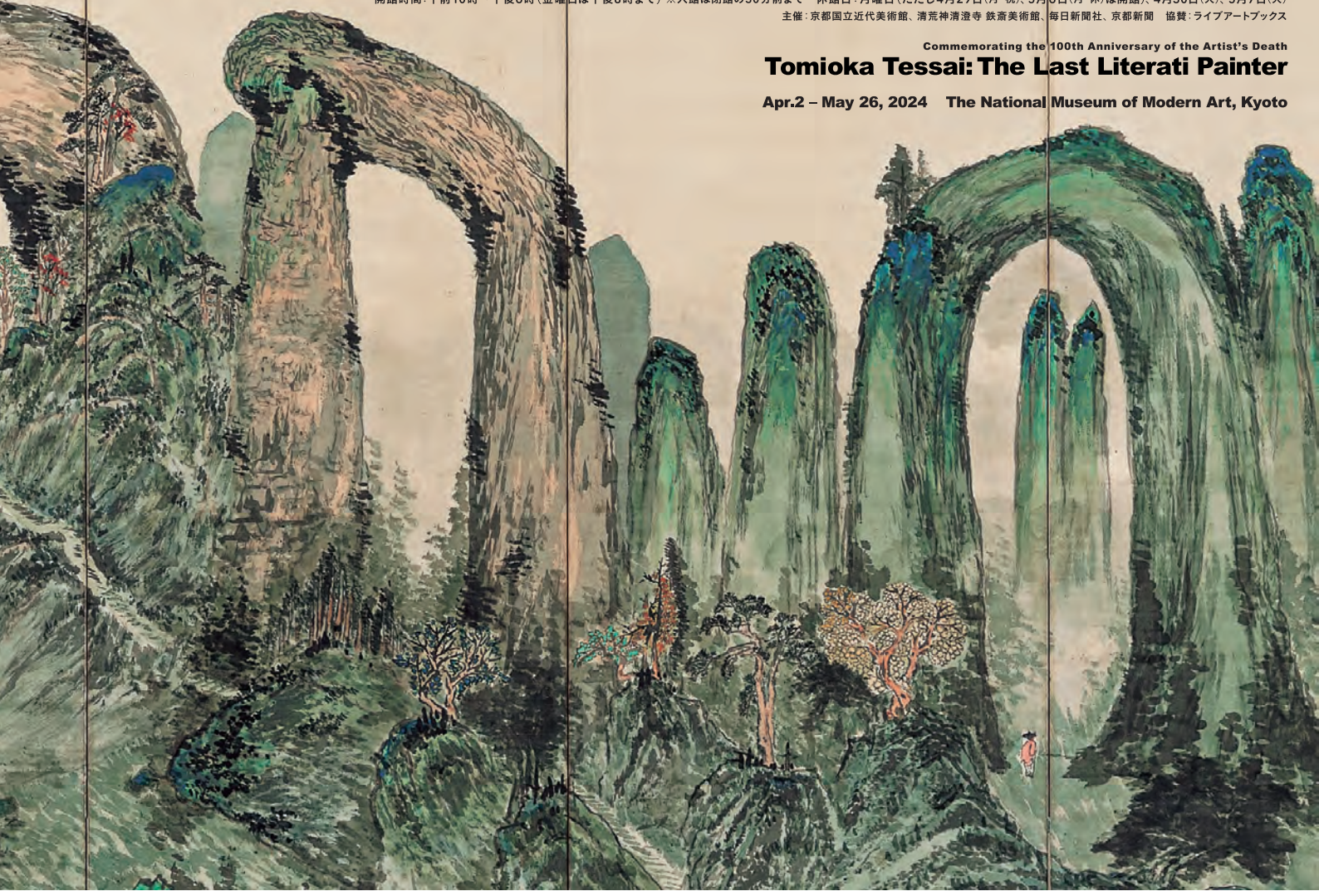
没後100年 富岡鉄齋 2024年4月2日(火)→5月26日(日)
京都国立近代美術館 [岡崎公園内]

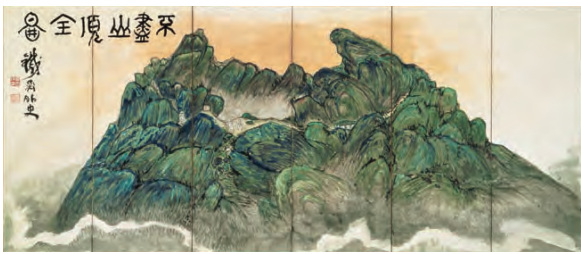
Tessai

鉄齋外史

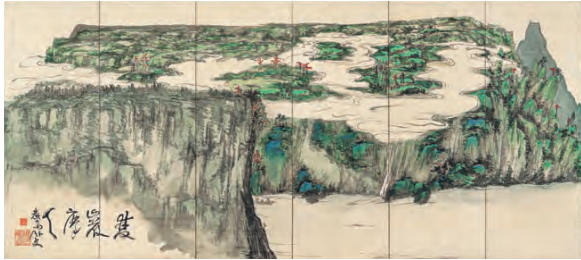
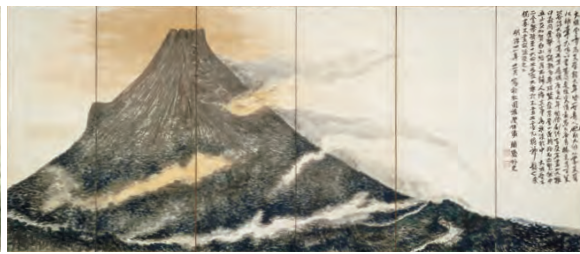
開館時間：午前10時～午後6時(金曜日は午後8時まで) ※入館は開館の30分前まで 休館日：月曜日(ただし4月29日(月・祝)、5月6日(月・休)は開館)、4月30日(火)、5月7日(火)
主催：京都国立近代美術館、清荒神清澄寺 鉄齋美術館、毎日新聞社、京都新聞 協賛：ライブアートブックス

Commemorating the 100th Anniversary of the Artist's Death
Tomioka Tessai: The Last Literati Painter
Apr.2 – May 26, 2024 The National Museum of Modern Art, Kyoto

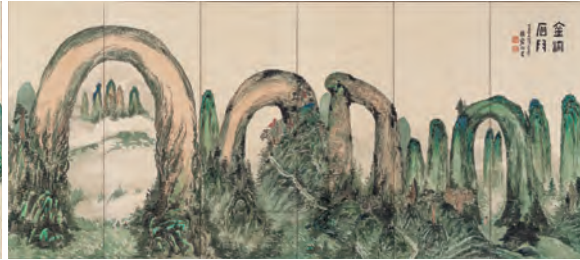




《富士山図》明治31年(1898) 63歳 清荒神清澄寺 鉄斎美術館【第1-2期展示】



《妙義山図・瀨八丁図》明治39年(1906) 71歳 布施美術館【第3-4期展示】



《青緑山水図》明治45年(1912) 77歳 清荒神清澄寺 鉄斎美術館【第2-3期展示】

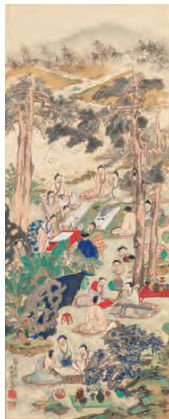


展示替え予定は、以下のとおりです。

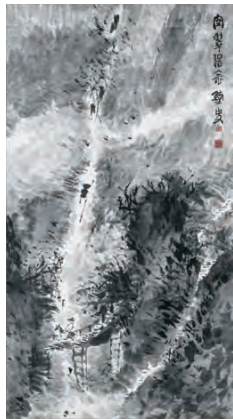
第1期 4月2日—4月14日／第2期 4月16日—4月29日
第3期 5月1日—5月12日／第4期 5月14日—5月26日



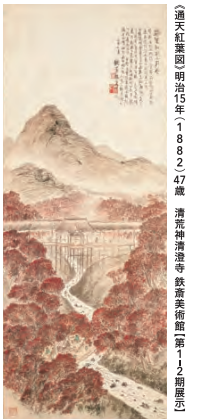
《山崎津浦市図》明治6年(1875) 40歳 清荒神清澄寺 鉄斎美術館【第3-4期展示】



《空閑四遊図》50歳代 京都国立近代美術館【第3-4期展示】



《空閑遊文図》40歳代 清荒神清澄寺 鉄斎美術館【第1-2期展示】



《空閑紅葉図》明治15年(1882) 47歳 清荒神清澄寺 鉄斎美術館【第1-2期展示】



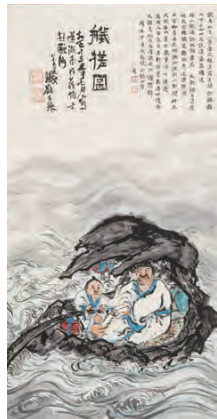
《空閑紅葉図》明治19年(1886) 51歳 清荒神清澄寺 鉄斎美術館【第1-2期展示】



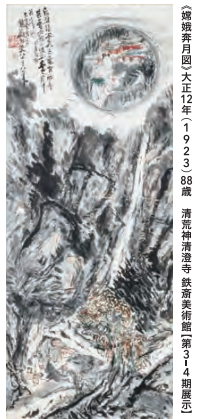
《空閑製茶園》豊田隆盛図 明治2年(1869) 34歳 清荒神清澄寺 鉄斎美術館【第3-4期展示】



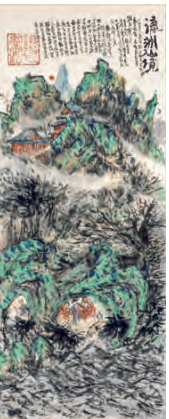
《福内鬼外図》大正13年(1924) 89歳 清荒神清澄寺 鉄斎美術館【第1-2期展示】



《織姫図》大正13年(1924) 89歳 京都国立近代美術館【第3-4期展示】



《蟠桃弄月図》大正12年(1923) 88歳 清荒神清澄寺 鉄斎美術館【第3-4期展示】



《瀟湘仙遊図》三幅の内 大正12年(1923) 88歳 碧南市藤井吉現代美術館【第1-2期展示】



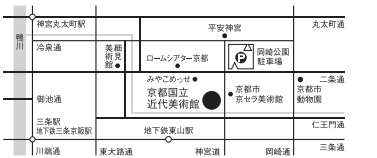
《鮮魚圖》明治43年(1910) 75歳 愛媛県美術館【第1-2期展示】



《勾丁時七絶》60歳代 清荒神清澄寺 鉄斎美術館【第1-2期展示】



《高士肥遯図》明治22年(1889) 54歳 碧南市藤井吉現代美術館【第1-2期展示】



交通案内
●京都市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ、
「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車徒歩約5分、
「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約10分
●地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩約10分
※当館には駐車場がございません。近隣の有料駐車場をご利用ください
※岡崎公園駐車場をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台につき1回)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください

観覧料 一般1,200円(1,000円)
大学生 500円(400円)

京都国立近代美術館 [岡崎公園内] The National Museum of Modern Art, Kyoto
606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 tel: 075-761-4111 https://www.momak.go.jp/

世に「最後の文人画家」と称えられる富岡鉄斎(1836-1924)。幕末、京都に生まれた彼は、石門心学を中心に儒学、国学、仏教など諸学を広く学びながら同時に、南宗画、やまと絵など多様な流派の絵画も独学し、深い学識に基づいた豊かな画業を展開しました。良い絵を描くには「万巻の書を読み、万里の路を行く」ことが必要であるという先人の教えを重んじた彼は、何を描くにもまずは対象の研究に努め、鹿児島から北海道まで全国を旅して各地の勝景を探りました。そうして胸中に思い描かれた理想の山水を表出し、人間の理想を説いた鉄斎の絵画は、生前から今日まで国内外で高く評価されてきました。幕末に人格を形成して明治初期には神官として古跡の調査と復興に尽力し、やがて官を辞して市井の画家として生き、大正13年(1924)年の大晦日に数え年89歳で亡くなった鉄斎は、令和6年(2024)年末で没後100年を迎えることとなります。本展では、この記念のときに向け、彼の画業をあらためて回顧します。至聖通一 一条下ルの画室を彩っていた文房具や旧蔵本、筆録なども取り上げ、都市に生きた彼の日常も垣間見ていただきます。

京都では27年ぶりの鉄斎展です。

没後100年 富岡鉄斎

Commemorating the 100th Anniversary of the Artist's Death

Tomioka Tessai: The Last Literati Painter